

# Combi

## コンビ

### マジカルコンパクト シンプルタイプ

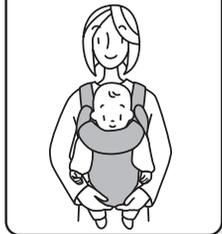
#### Baby Soft Carrier

### 取扱説明書

タテ対面だっこ



タテ前向きだっこ



おんぶ



子守帯を3年以上ご使用の場合、生地等の経年劣化により、本来の性能を果せず危険を招くおそれがあります。不測の事態に備えてご使用をお控えください。



**注意**

- 誤った使用方法でお子さまが傷を負う可能性がありますので、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。
- 本製品を他の方にお譲りになるときには、必ず本書もあわせてお渡しください。

## もくじ

### お使いいただく前に

ご使用前に .....	1
安全にお使いいただくために .....	1
各部のなまえ .....	5
便利な使いかた .....	6
各部の調節方法 .....	7

### タテ対面だっこ

首すわり～24ヵ月（13kgまで）	
タテ対面だっこの準備 .....	8
タテ対面だっこで使うには .....	8

### タテ前向きだっこ

首すわり～24ヵ月（13kgまで）	
タテ前向きだっこで使うには .....	15

### おんぶ

首すわり～36ヵ月（15kgまで）	
おんぶで使うには .....	18

### お手入れ

お手入れ .....	21
------------	----

## ご使用の前に

このたびはマジカルコンパクト シンプルタイプをお買い上げいただき、ありがとうございます。

この製品は、お子さまを「だっこ」や「おんぶ」して、外気浴、買い物するときなどに使用するための1人用子守帯です。ご使用前に、5ページの「各部のなまえ」をご確認ください。

●マジカルコンパクト シンプルタイプは、「**タテ対面だっこ**」「**タテ前向きだっこ**」「**おんぶ**」の3つの使いかたができます。

### ■使用できるお子さまの月齢について

(お子さまの発育により、同じ月齢でも体格や体重には個人差があります)

使いかたのスタイル	参考月齢				限度体重
	新生児 (0ヵ月)	首がすわる (4ヵ月頃)	腰がすわる (7ヵ月頃)	24ヵ月 36ヵ月	
タテ対面だっこ		首すわり～ 24ヵ月まで			13kgまで
タテ前向きだっこ		首すわり～ 24ヵ月まで			13kgまで
おんぶ		首すわり～ 36ヵ月まで			15kgまで

※冬場など厚着をしますと、お子さまの体格によっては使用できなくなることがあります。お子さまの体格を考慮し、無理のない服装でご使用ください。

## 安全にお使いいただくために

### 安全上の注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用者およびお子さまへの危害や物的損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や物的損害の大きさと危害の度合いを示すもので、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。

**いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。**



**警告**

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。



**注意**

誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。

枠(2～4ページ)の中に具体的な注意内容が書かれています。

記号は警告・注意を促す内容があることをお知らせするものです。

# 警告

## 【とめる】

ご使用の際は、以下のバックルおよびフックを必ずとめてください。とめないで使用するとお子さまが落下するおそれがあります。

- タテだっこ（対面・前向き）する時
- ヘッドサポートフック（左右）
- ワンタッチバックル
- ブリッジバックル



- おんぶする時
- ヘッドサポートフック（左右）
- ブリッジバックル



## 【調節する】

ご使用の際は、以下のベルトの長さを使用者の身体にあわせて必ず調節してください。お子さまと使用者の間にすき間がありすぎたり、左右のベルトの長さが違うと、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。

- タテだっこ（対面・前向き）する時
- わきベルト（左右）



- おんぶする時
- わきベルト（左右）



⚠ 警告

お子さまの乗せおろしは、必ず安全な場所で行ってください。

不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。



使用中に走ったり、飛び跳ねたり 45° 以上の前かがみや横曲げなどの無理な姿勢はしないでください。

お子さまが落下するおそれがあります。



だっこするときは、必ず手で支えてください。

お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。



タテだっこやおんぶの際、ヘッドサポートを折って使うときには、お子さまの腕をヘッドサポートの上から出さないでください。落下のおそれがあります。



タテだっこやおんぶの際、お子さまの肩がヘッドサポートにあたってしまふときには、必ずお子さまの位置を調節してください。(11ページを参照) あたったまま使用すると落下のおそれがあります。



首がすわっていないお子さまに対しては、絶対にタテだっこやおんぶをしないでください。

お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。



タテだっこやおんぶの際、お子さまのわきの下が子守帯のシートにあたってしまふときには、必ずお子さまの位置を調節してください。(11ページを参照)

あたったまま使用するとお子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。



⚠ 注意

お子さまの様子をときどき確認してください。異常が見られたときには、すぐに使用をおやめください。



授乳後約 30 分以内や、連続 2 時間以上の使用はしないでください。

お子さまや使用者に思わぬ負担をかけるおそれがあります。



使用者が痛みや不快を感じたときは、使用を中止してください。特に、授乳期のお母さまはクロススタイルでおんぶをしないでください。

乳房を圧迫するおそれがあります。



製品のほつれ、傷、やぶれを見つけたとき、またバックルなどの部品が 1 か所でも破損したときには、すぐに使用を中止してください。

そのまま使用すると、故障や事故につながるおそれがあります。



タテだっこの際、足元が見えにくくなる場合がありますので、歩行には注意してください。



製品を火の近くや屋外に放置しないでください。熱や雨水などでバックルや生地などが変質し、事故につながるおそれがあります。



お子さまをだっこ、またはおんぶする以外の目的では、使用しないでください。破損・故障の原因になります。※歩行時以外での使用はできません。

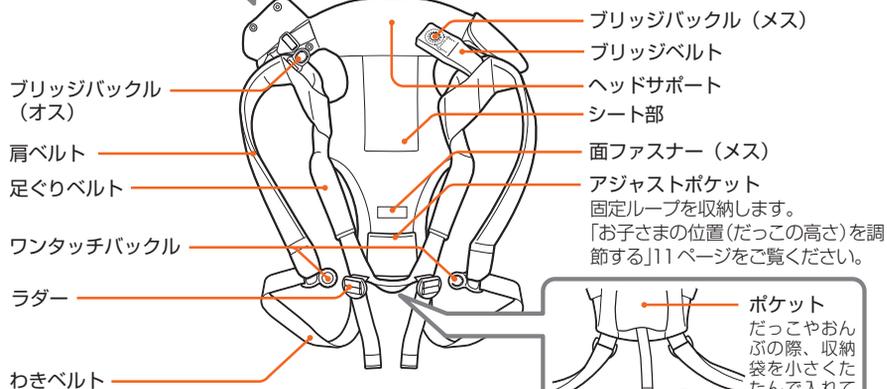
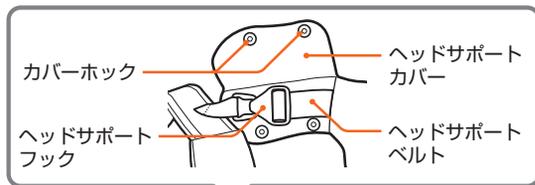


はずした状態のバックルの開口部に、お子さまが指を入れないように注意してください。すき間に指が入って抜けなくなったり、けがをするおそれがあります。製品を使用しないときは、バックルをとめた状態で保管してください。



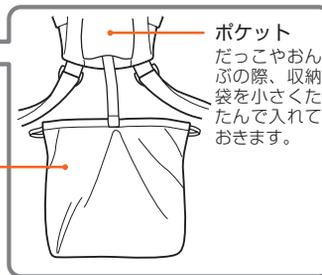
# 各部のなまえ

## 子守帯



※使用者の身体にフィットするよう、あらかじめ半回転ねじれています。

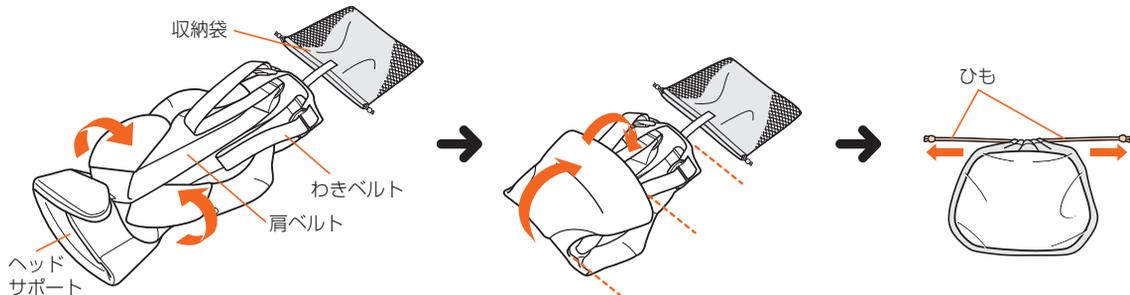
**収納袋**  
子守帯を収納します。「くるくるコンパクト(収納機能)の使いかた」6ページをご覧ください。



# 便利な使いかた

## くるくるコンパクト(収納機能)の使いかた

子守帯のコンパクトな収納方法です。

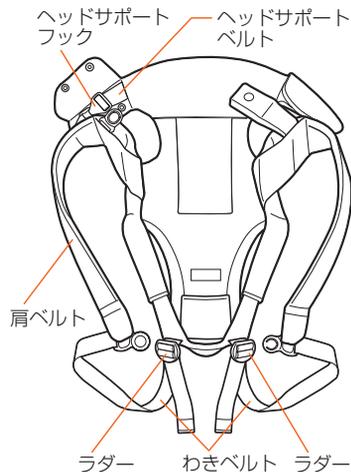


- ① 収納袋を取り出し、肩ベルト、わきベルトを子守帯のシート部内側に折ってまとめます。

※ヘッドサポート側を手前にすると折りやすくなります。

- ② そのまま三つ折りにします。
- ③ 収納袋に入れ、ひもを引っぱります。

# 各部の調節方法



## わきベルトの長さを調節する方法

- 短くするときはラダーを立てて、わきベルトの余りを引っばります。
- 長くするときはラダーを立てて、わきベルトを引き戻します。

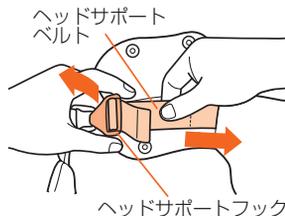
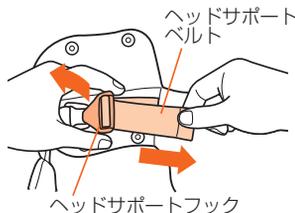


わきベルトを調節するのは、このようなときです。

- ・お子さまの高さ調節
- ・使用者の身体にフィットさせる。

## ヘッドサポートベルトの長さを調節する方法

- 短くするときはヘッドサポートフックを立てて、ヘッドサポートベルトの余りを引っばります。
- 長くするときはヘッドサポートフックを立てて、ヘッドサポートベルトを引き戻します。



ヘッドサポートベルトを調節するのは、このようなときです。

- ・タテだっこやおんぶの際、お子さまの頭まわりの寸法を調節する。

ヘッドサポートベルトの余りは、図のようにシートの内側に収納できます。

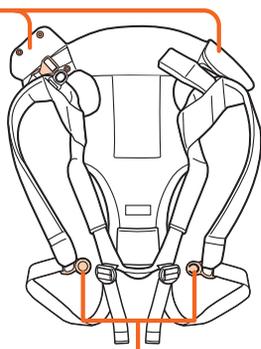
ヘッドサポートベルト

# タテ対面だっこの準備

※収納袋は小さくたたんでポケットに入れてご使用ください。

**1** 左右のヘッドサポートフックがとまっていることを確認し、2カ所のカバーフックをとめ、ヘッドサポートカバーを閉じる

**2** ワンタッチバックルを取り出す

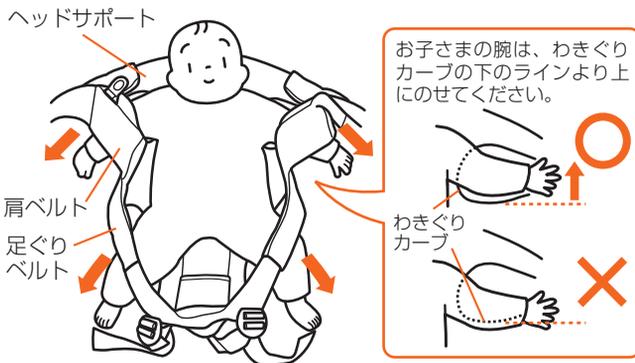


# タテ対面だっこで使うには

(子守帯にお子さまを乗せてからだっこする場合)

**1** お子さまを子守帯に乗せ、図のように両足と両腕を通す

安全な場所でお子さまを乗せてください。



**警告** お子さまの乗せおろしは必ず安全な場所で行ってください。不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。



**注意** わきぐりカーブより下にお子さまの腕を乗せて装着すると、お子さまのわきがうっ血するおそれがあります。

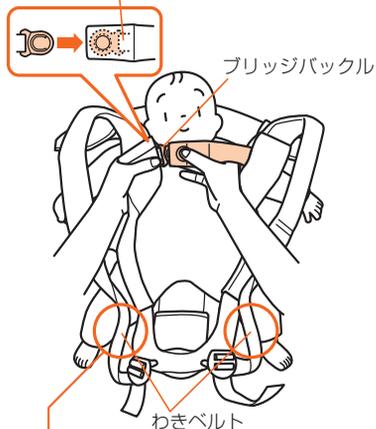


# タテ対面だっこで使うには (子守帯にお子さまを乗せてからだっこする場合)

## 2 ブリッジバックルをとめる

「カチッ」と音がするまで差し込みます。

ブリッジバックル(メス)はブリッジベルトの中に入っています。



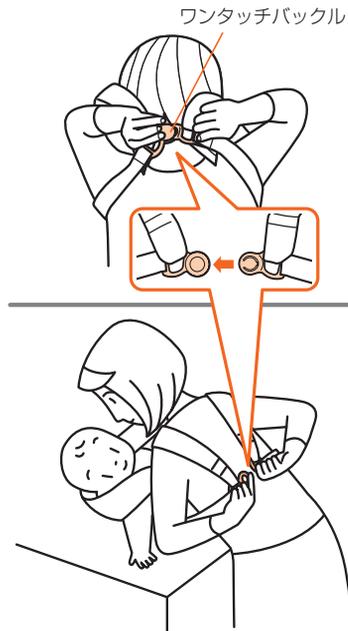
### チェックポイント

- 左右のわきベルトがお子さまの股の間を通っていますか？

※ブリッジベルトは、通気性が確保されているので、お子さまの呼吸には支障ありません。

## 3 左右の肩ベルトをかけ、ワンタッチバックルをとめる

図のように左右のバックルを持ち、前かがみになり首の後ろまたは背中でワンタッチバックルを「カチッ」と音がするまで差し込みます。

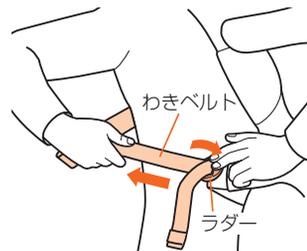


## 4 使用者の身体にフィットさせる

わきベルトの余りを左右同じ長さに調節します。

「わきベルトの長さを調節する」7ページをご覧ください。

- 長くするときはラダーを立てて、わきベルトを引き戻します。



- 短くするときはラダーを立てて、わきベルトの余りを引っばります。



## 5 装着の状態をチェックする

鏡などに姿を映し、だっこの状態を最適な状態にしてください。

### チェックポイント

●確実にとまっていますか？

ヘッドサポートフック (左右)

ブリッジバックル

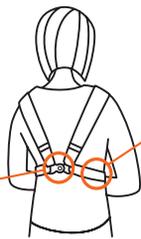


ワンタッチバックル



●使用者の身体にフィットするように調節していますか？

わきベルト (左右)



●お子さまについて

お子さまの頭まわりをしめつけすぎていませんか？ (7ページ参照)

お子さまの肩がヘッドサポートにあたっていませんか？ (11ページ参照)

お子さまのわきの下がシートにあたっていませんか？ (11ページ参照)

お子さまのものがシートに圧迫されていませんか？ (11ページ参照)



警告

チェックポイントを守らないと、

- お子さまが落下するおそれがあります。
- お子さまが窒息したり、こすれや傷を負うおそれがあります。
- お子さまのわきやももがうっ血するおそれがあります。



注意

お子さまの頭で前方の視界が妨げられないように調節してください。また、足元が見えにくくなる場合がありますので、歩行には注意してください。



ヘッドサポートを折って使うこともできます。

ヘッドサポートを外側に折り曲げると、首を支えつつお子さまの視界を広げることができます。



ヘッドサポートを折り曲げないときはヘッドサポートが、眠ってしまったお子さまの頭をしっかり支えます。

※通気性が確保されているのでお子さまの呼吸には支障ありません。



# お子さまの位置(だっこの高さ)を調節する

- お子さまの肩がヘッドサポートにあたってしまう場合には

シートのみを上方に引っ張り、お子さまのお尻を使用者側に引き寄せてヘッドサポートとお子さまの肩のすきまを調節してください。

※ お子さまが成長し、お子さまの体の位置を調節しても肩があたる場合は使用をやめてください。

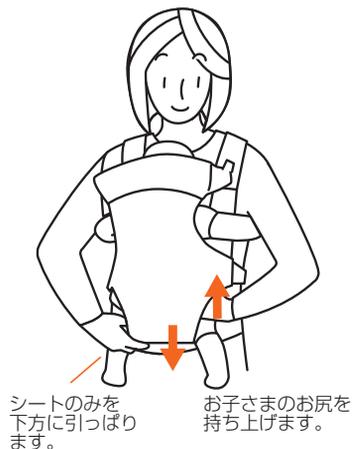
※ 必要に応じてわきベルトの長さを調節してください。(7ページ参照)



- お子さまのわきの下が子守帯のシートにあたってしまったり、ももが圧迫される場合には

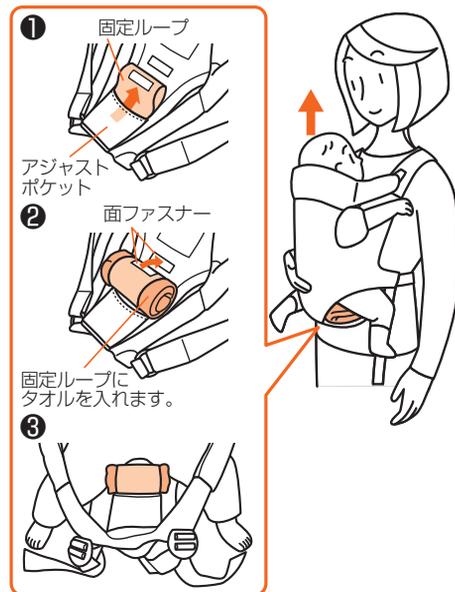
シートのみを下方に引っばり、シートとお子さまの体のすきまを調節してください。

※ 必要に応じてわきベルトの長さを調節してください。(7ページ参照)



- 調節してもお子さまが低い場合には

- ① 本体のアジャストポケットから固定ループを取り出します。
- ② 固定ループにタオルを入れ、固定ループの面ファスナーを本体の面ファスナーでとめます。
- ③ お子さまを図のように、タオルの入った固定ループより上に乗せ、お子さまのお尻の高さを調節してください。

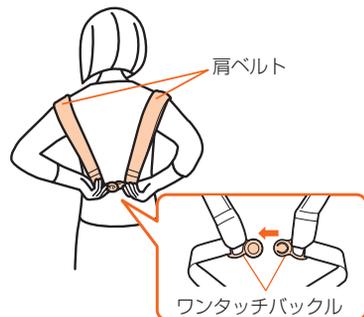


# タテ対面だっこで使うには（子守帯を取り付けてからお子さまをだっこする場合）

※ヘッドサポートベルトの調節のしかたは7ページの「各部の調節方法」をご覧ください。

## 1 子守帯を取り付ける

肩ベルトを肩にかけ、背中でワンタッチバックルを「カチッ」と音がするまで差し込みます。



ワンタッチバックルがとめにくい場合は、先にバックルをとめてからベルトをくぐって腕を通し、子守帯を取り付けることもできます。

## 2 わきベルトの長さを調節し、身体にフィットさせたら、片方の肩ベルトをずらす



## 3 お子さまを子守帯に乗せ、両足を通す

使用者が安全な場所にすわった状態で、お子さまを向かい合わせに抱き上げ、子守帯に乗せます。お子さまの足を左右の足ぐりベルトに通します。



**警告** お子さまの乗せおろしは必ず安全な場所で行ってください。（他の人に介添えをしていただくとより安全です。）不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

タテ対面だっこ

首すわり〜13kgまで



# タテ対面だっこで使うには

## 4 肩ベルトを肩にかけて、ヘッドサポートフックをとめる

ずらしていた肩ベルトを肩に戻し、ヘッドサポートフックをお子さまの肩の上で「カチッ」と音がするまでとめます。

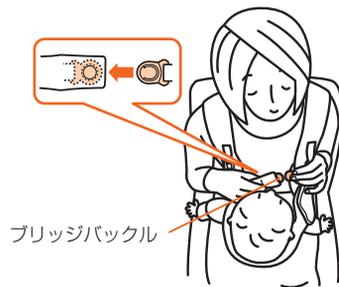
※カバーフックをはずしたときは、ヘッドサポートフックをとめたあとにとめてください。



## 5 ブリッジバックルをとめる

「カチッ」と音がするまで差し込みます。

わきベルトの余りを左右同じ長さに調節します。(7ページ参照)



## 6 装着の状態をチェックする

10ページの手順5「チェックポイント」をご覧ください。

## タテ対面だっこのはずしかた

### 1 ワンタッチバックルをはずして、肩ベルトをはずす

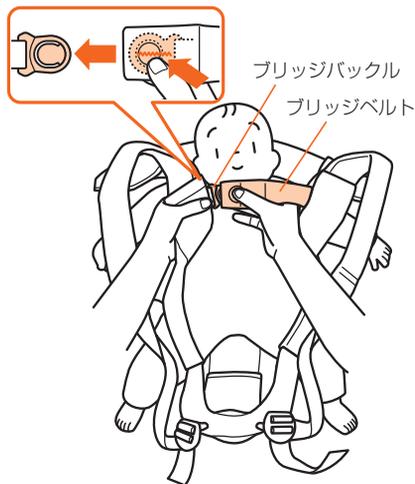
安全な場所にすわり、お子さまを支えながら、ワンタッチバックルをはずし、肩から左右の肩ベルトをはずします。

※ワンタッチバックルをはずすには、図のように差し込んだバックルの内側から親指で外側に押します。



### 2 お子さまを安全な場所へ寝かせ、ブリッジバックルをはずし、ブリッジベルトをはずす

ブリッジベルトの赤いラインを押し、ブリッジバックルをはずします。



### 3 足と腕を子守帯から抜き、お子さまをおろす

足ぐりベルトを引っ張り、お子さまの足を足ぐりベルトから抜きます。

腕も子守帯から抜いて、抱き上げます。

# タテ前向きだっこで使うには

※ヘッドサポートベルトの調節のしかたは7ページの「各部の調節方法」をご覧ください。

## 1 子守帯を取り付ける

「タテ対面だっこで使うには（子守帯を取り付けてからお子さまをだっこする場合）」(12ページ)の手順1、2をご覧ください。子守帯を取り付け、お子さまを乗せる準備をしてください。

## 2 お子さまを子守帯に乗せ、両足を通す

使用者が安全な場所にすわった状態で、お子さまを前向きに抱きあげ、子守帯に乗せます。お子さまの足を左右の足ぐりベルトに通します。



## 3 肩ベルトを肩にかけて、ヘッドサポートを折りたたみ、ヘッドサポートフックをとめる

ずらしていた肩ベルトを肩に戻し、ヘッドサポートを外側に折りたたみます。お子さまの顔まわりをしめつけすぎないようにヘッドサポートベルトの長さを調節してください。(7ページ参照) 左右のヘッドサポートフックを「カチッ」と音がするまでとめます。



お子さまの乗せおろしは必ず安全な場所で行ってください。(他の人に介添えをしていただくとより安全です。) 不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

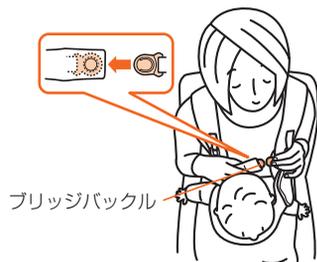


タテ前向きだっこでご使用の際は、必ずヘッドサポートを折りたたんでください。お子さまの顔を圧迫し、傷害を負うおそれがあります。

## 4 ブリッジバックルをとめる

「カチッ」と音がするまで差し込みます。

わきベルトの余りを左右同じ長さに調節します。



## 5 装着の状態をチェックする

鏡などに姿を映し、だっこの状態を最適な状態にしてください。

### チェックポイント

●確実にとまっていますか？

●使用者の身体にあわせてフィットするように調節していますか？

ヘッドサポートフック (左右)

ブリッジバックル

ワンタッチバックル

わきベルト (左右)



チェックポイントを守らないと、

- お子さまが落下するおそれがあります。
- お子さまが窒息したり、こすれや傷を負うおそれがあります。
- お子さまのわきやももがうっ血するおそれがあります。

# タテ前向きだっこで使うには

## チェックポイント

### ●お子さまについて

- ヘッドサポートが口にかかっていませんか？  
あたっている場合は、お子さまの位置を調節してください。
- お子さまのわきの下がシートにあたっていないですか？



お子さまの口がヘッドサポートにかかってしまったり、わきの下がシートにあたってしまう場合には、11ページの方法を参照し、調節してください。

## タテ前向きだっこのはずしかた

「タテ前向きだっこで使うには」の手順を逆に行ってください。(16～15ページ手順4→3→2)

- ブリッジベルトの赤いラインを押し、ブリッジバックルをはずす  
(16ページ手順4参照)
- 左右のヘッドサポートフックをはずし、片方の肩ベルトをはずす  
(15ページ手順3参照)
- 両足を子守帯から抜き、お子さまをおろす(15ページ手順2参照)

# おんぶで使うには

※ヘッドサポートベルトの調節のしかたは7ページの「各部の調節方法」をご覧ください。

## 1 子守帯にお子さまを乗せる

「タテ対面だっこで使うには（子守帯にお子さまを乗せてからだっこする場合）」（8～9ページ）の手順1、2をご覧になり、子守帯にお子さまを乗せてください。

### チェックポイント

- 左右のわきベルトがお子さまの股の間を通っていますか？
- ブリッジバックル、ヘッドサポートフックはとまっていますか？

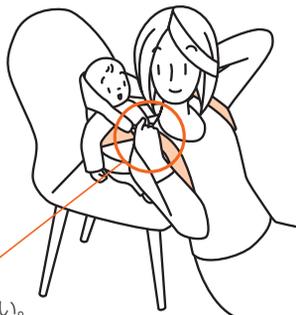


お子さまの乗せおろしは必ず安全な場所で行ってください。（他の人に介添えをしていただくとより安全です。）不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

## 2 お子さまを背負う

お子さまを乗せて立ち上がるときは、肩ベルトの付け根部分をしっかり持ちてください。

※他の人に介添えしていただくと、より安全です。

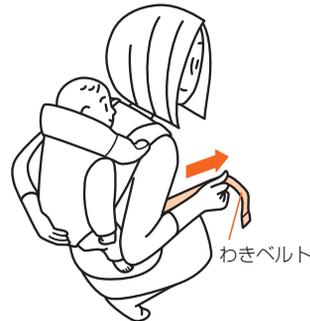


肩ベルトの付け根部分を  
持ちってください。



## 3 わきベルトを調節し、身体にフィットさせる

わきベルトの余りを左右同じ長さに調節します。

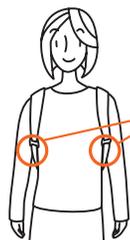


# おんぶで使うには

## 4 装着の状態をチェックする

鏡などに姿を映し、おんぶの状態を最適な状態にしてください。

### チェック✓ポイント



●使用者の身体にあわせてフィットするように調節していますか？

✓ わきベルト (左右)



●お子さまについて

✓ お子さまの頭まわりをしめつけすぎではありませんか？ (7ページ参照)



✓ お子さまの肩がヘッドサポートにあたっていませんか？ (11ページ参照)

✓ お子さまのわきの下がシートにあたっていませんか？ (11ページ参照)

✓ お子さまのももがシートに圧迫されていませんか？ (11ページ参照)

●お子さまの肩がヘッドサポートにあたってしまう場合には、11ページの方法を参考に調節してください。

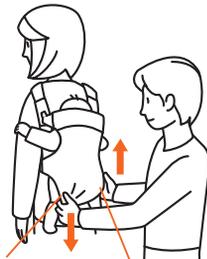
※お子さまが成長し、お子さまの身体の位置を調節しても肩があたる場合は使用をやめてください。

シートを上方にひっぱります。



お子さまのお尻を使用者側に引き寄せます。

●お子さまのわきの下が子守帯のシートにあたってしまったり、ももが圧迫される場合には、11ページの方法を参考に調節してください。



シートのみを下方に引っぱります。

お子さまのお尻を持ち上げます。

チェックポイントを守らないと、

- お子さまが落下するおそれがあります。
- お子さまが窒息したり、こすれや傷を負うおそれがあります。
- お子さまのわきやももがうっ血するおそれがあります。

警告



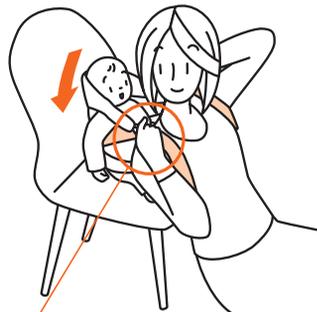
おんぶのときは、約30分ごとにお子さまの様子を確認してください。

おんぶしているときは、使用者からお子さまが見えませんが、特に低月齢のお子さまの場合は、約30分ごとにお子さまをおろして様子を確認するように心がけてください。

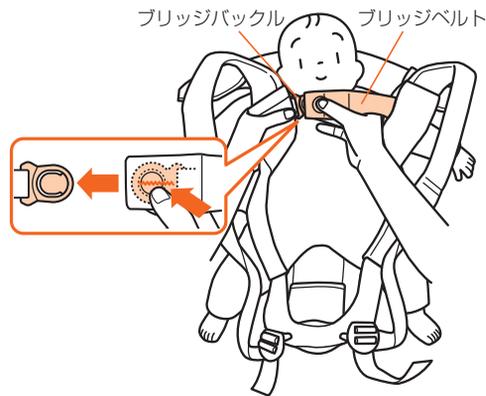
## おんぶのはずしかた

※クロススタイルのおんぶの場合は、ワンタッチバックルをはずしてから行ってください。

- 1 お子さまを背中からおろす  
※他の人に介添えていただくとより安全に行えます。
- 2 お子さまを安全な場所へ寝かせ、ブリッジバックルをはずす  
ブリッジベルトの赤いラインを押し、ブリッジバックルをはずします。



肩ベルトの付け根部分を持ってください。



- 3 足と腕を子守帯から抜き、お子さまをおろす  
足ぐりベルトを引っ張り、お子さまの足を足ぐりベルトから抜きます。  
腕も子守帯から抜いて、抱き上げます。

ヘッドサポートを折って使うこともできます。

ヘッドサポートを外側に折り曲げると、首を支えつつお子さまの視界を広げることができます。

ヘッドサポートを折り曲げないときはヘッドサポートが、眠ってしまったお子さまの頭をしっかり支えます。

※通気性が確保されているのでお子さまの呼吸には支障ありません。



クロススタイルでおんぶする

わきベルトを伸ばし、ワンタッチバックルを胸の下の部分でとめ、使用者の身体にあわせてフィットさせると、クロススタイルのおんぶも可能です。



注意

使用者が痛みや不快を感じたときは、使用を中止してください。

特に、授乳期の母さまはクロススタイルでおんぶをしないでください。乳房を圧迫するおそれがあります。

おんぶ

首すわり～15kgまで

# お手入れ

## 本体のお手入れ

### 日常のお手入れ

- 洗濯は水またはぬるま湯で押し洗いし、形を整えて日陰で平干ししてください。
- 軽い汚れの場合は、湿らせた布でたたいて落としてください。



お子さまのよだれなどが生地につきますと、生地がかたくなる場合がありますのでその際には早めに洗濯してください。  
かたくなった生地でお子さまの肌を傷つけるおそれがあります。

### 洗濯についてのご注意

- 色落ちすることがありますので、他の洗濯物とは別に洗ってください。また、つけ置き洗いも避けてください。
- 漂白剤、蛍光剤入りの洗剤は肌あれ・湿疹などの原因となりますので、使用しないでください。
- 洗濯機、脱水機、乾燥機の使用はしないでください。バックルなどの破損につながるおそれがあります。
- 洗濯表示、生地素材については、製品本体に縫製されております洗濯ラベルをご参照ください。

# SG マークの被害者救済制度

SG マークが表示された子守帯を、消費者の皆さまが正常に使用していたとき、製品の欠陥により万一事故が発生し、お子さまが損害を被った場合は、「製品安全協会」がその損害を賠償いたします。

ただし、お買い上げ日より 3 年以内です。

## ●賠償についてのご注意

- 認定した子守帯そのものが故障したとしても、その品質について保証するというものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害について賠償する制度です。
- 賠償金は製品安全協会がそれぞれ実情をよく調査して、実損を補填する妥当な額をお支払いすることになります。



## ●賠償金の請求について

損害を被った消費者（お子さまなどの場合は保護者でもよい）が賠償金を請求するときは、別欄の項目を事故が発生した日から 60 日以内に下記の協会または、協会が指定するところに届けてください。

製品安全協会

〒110-0012 東京都台東区竜泉 2 丁目 20 番 2 号  
ミサワホームズ三ノ輪 2 階  
TEL (03) 5808-3300

## ●事故賠償に必要な項目

### ① 事故の原因となった子守帯の現品

イ) 製品の名称、SG 番号    ロ) 製品の購入先、購入年月日

### ② 事故発生の状況

イ) 事故発生年月日    ロ) 事故発生場所    ハ) 事故発生状況

### ③ 被害の状況

イ) 被害者の氏名、年齢、性別、職業、住所  
ロ) 被害の状況と程度（医師の証明書）

## 品質保証書 コンビ 子守帯

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社コンシューマーブラザ、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

商品名 マジカルコンパクト シンプルタイプ	ロットNo.  <small>(本体の保証表示ポケット内側にある洗濯表示ラベル裏の番号)</small>	保証期間 お買い上げ日より1年間 (ただし保証規定による)
お客様 お名前 ご住所 〒 TEL	お買い上げ日 年 月 日	
販売店 店名 住所	TEL	
修理メモ		

### 保証規定

1. 1度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
  2. 保証期間内（お買い上げ日より1年間）に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。電話にてお問い合わせの上、当社コンシューマーブラザにお送りください。
  3. 保証期間内で次のようなものは有料修理になります。
    - (a) プラスチック部品の自然劣化による変色。
    - (b) 縫製品の傷や破れ、変色。
    - (c) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
    - (d) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障及び損傷。
    - (e) 本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
    - (f) 本書のご提示がない場合。
    - (g) 一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合。
    - (h) 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
  4. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは致しかねます。
  5. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。
- お買い上げ後、お買い上げ日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。
  - 万一故障が生じた場合は保証書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
  - この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社コンシューマーブラザ、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
  - 品質保証書にご記入いただいた個人情報、故障・修理の確認、修理品の発送にのみ利用いたします。それ以外の用途には利用いたしません。

# コンビ株式会社

商品に関するお問い合わせ、部品購入、修理などのご相談は、コンシューマーブラザにて対応いたします。

コンシューマーブラザ (Customer Service Center)  
受付時間：10:00～17:00 (日祝日、年末年始を除く)

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271 部品販売 (相談) 窓口 TEL.(048) 797-1001 FAX.(048) 798-6109

コンシューマーブラザ (Customer Service Center) / 西日本担当

受付時間：10:00～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-4-16 TEL.(06) 6942-0379 FAX.(06) 6942-0302

\* ホームページのご案内 <http://www.combi.co.jp/cp/>

Web上にコンビの育児サイトを開設しています

コンビの製品&育児情報サイト・コンビタウン

<http://www.combibaby.com>